

2014 年漁期におけるヤリイカ冬季来遊群の漁況予測について

【予測結果】 近年 5 ヶ年平均並みの低水準

予測漁獲量: 785 トン

前漁期(2013 年 8 月～2014 年 2 月)の漁獲量 850 トンに比べて, 92.4%
近年 5 ヶ年(2008 年～2013 年)の平均漁獲量 835 トンに比べて, 94.0%

【解説】

1. **漁獲動向** 青森県におけるヤリイカ冬季来遊群の漁獲量(8 月～翌年 2 月)は, 1986 年に 616 トンと最低を記録して以降, 増加に転じ, 2000 年まで 1,000～2,800 トンで推移した。2000 年以降は減少傾向となり, 2002 年と 2007 年を除いて 900～1,300 トンで推移し, 2008 年以降は 800 トン前後で推移している。

2. 漁況予測の方法

予測海域: 青森県～北海道渡島

予測方法: 当該海域の漁期序盤(8～11 月)と漁期全体(8 月～翌年 2 月)の漁獲量には高い相関($R^2=0.93$)が認められたので, 算出された関係式に漁獲データを代入して求めた。

3. これまでとの変更点: 予測海域から岩手県を除き, 青森県～北海道渡島とした。

- (1)岩手県で漁獲されたヤリイカの群れが, 今後, 青森県沿岸に回遊する可能性は低いと判断した。
- ・岩手県の漁獲量が突出して大きいことから, 岩手県以南からの北上群である可能性が高い。
 - ・岩手県沖合から八戸沖合への北上傾向が認められない(八戸沖合での漁獲量急増が認められない)。
- (2)青森県太平洋沖合における幼イカ分布調査では, 資源が多い傾向は認められない。
- (3)青森県～北海道渡島の漁獲データからも, 十分に高い相関が得られた。

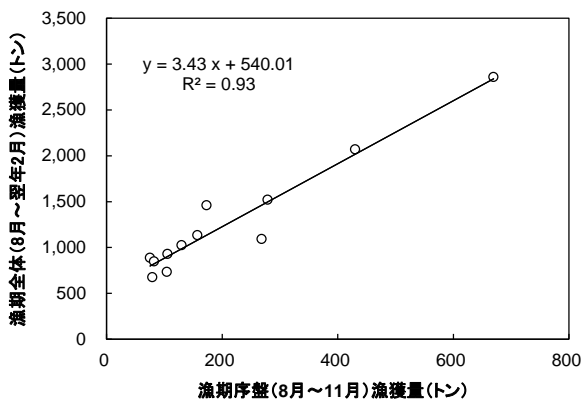


図 1 北海道渡島総合振興局管内-青森県における漁期序盤と漁期全体の漁獲量の関係

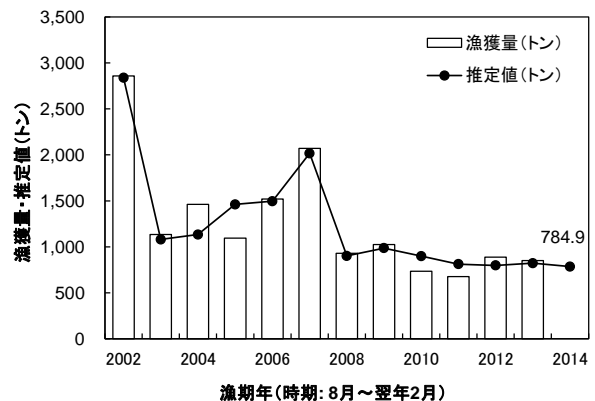


図 2 北海道渡島総合振興局管内-青森県における漁期全体の漁獲量と推定値の年推移